

書 燈



写真左：KOBE BOOK FAIR & MARKET

写真上：神戸「本」の文化振興プロジェクト
グッズ

(記事は6ページ)

分ける、分かる、分からない

川村 凜太郎

「書架までご案内しますね」「初夏？もう秋やで」。カウンターで利用者と交わした会話である。図書館では本棚を書架と呼ぶが、あまり一般的な言葉ではないのかもしれない。では書架は図書館用語かと言うとそうでもなく、例えば夏目漱石の『草枕』(1906年発表)に「紫檀の書架から恭しく取り下ろした」とあり、かつては今より使われていたようだ。

さて、書架と言えば書架分類である。日本の多くの図書館ではNDC(日本十進分類法)によって本が分類されている。余談だが、NDCの考案者である森清が神戸市立図書館に勤務していたことがある。1934～38年のことで、その中で丸3年をかけて当時まだ珍しかったNDCを蔵書に適用する作業を行い、書架分類の基礎を作った。司書が苦心して本を分類する目的は、特定の本が膨大な蔵書の中でどの書架にあるのか、その本が何を主題に書かれたものなのか等を分かるようにしておくためである。日本語の「分かる」の語源は「分ける」だと言われているが、書架分類は「分かるようにするために分ける」ことだと言える。

近年増えた独立系書店などに行くと図書館の書架とは違い、棚に分類が明示されていないところが多く、本の主題や棚の境界線が「分けていないから分からない」ことがある。司書としては、気ままに過ごす本たちに向かって「NDCを適用してやろうか」と息巻きたくならないでもないが、同時に「分からない」こ

との魅力も感じる。決まった枠が無いからこそ1冊1冊が個として光って見えるのだ。「分からない」は「分かりたい」と思うきっかけになるのかもしれない。

『オトランド城奇譚』で知られるホレス・ウォルポールによる造語で「セレンディピティ」という言葉があり、「偶然をきっかけに鋭い知恵によって思いがけない発見をすること」などと解釈される。「分からない」ことに偶然出会い、「分かりたい」と思った時に必要とされる「鋭い知恵」は、様々なことを「分かる」ことによって培われるのではないだろうか。

図書館は「分かる」と「分からない」が共生する環境だと思う。「分かりたい」ことがある利用者が、求める情報に迷わず辿り着くことができるように本を分類して「分かる」ようにしておくことは図書館の土台だ。一方で、分類から離れたテーマ展示やイベントでは「分からない」要素をちりばめて、利用者が思いがけない本と出会う機会を作ること、新たな「分かりたい」を生み出すことができる。「分かる」と「分からない」を相互に作用させることで図書館をセレンディピティの宝庫にできれば嬉しく思う。

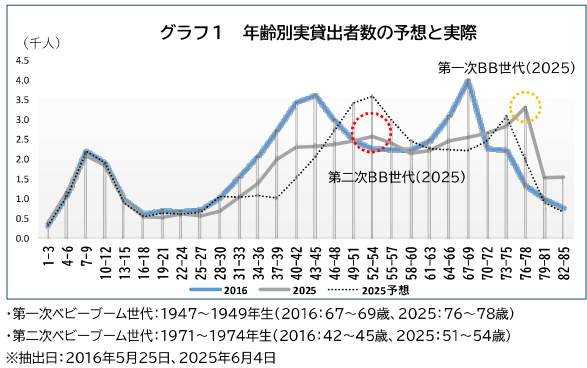
ところで、セレンディピティは『セレンディップの三人の王子たち』という本に由来する言葉なのだが、その本の内容については「分からない」ままにして話を終える。もし気になる方がいらっしゃったら、季節を問わず書架までご案内します。(総務課係長)

利用統計とアンケートから行動変化を考える

市民サービスライン 堀口尚之

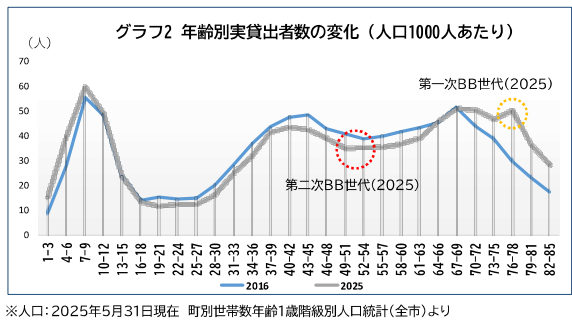
1. 利用統計実貸出者数の 2016・2025 年比較

『書燈』No.317 (2016) 掲載の拙稿「年齢別の瞬間実貸出人数の分析」では、2016 年の実貸出者数と 2025 年の予想・実貸出者数を著した。本年 2025 年は、その答え合わせをしたい。なお、実貸出者数の詳細については本文においては割愛する。



グラフ1の点線が2025年の予想、灰色線が2025年の結果数値である。線が重なっていない部分が「予想外」の結果となる。第二次BB世代が予想を大きく下回っていることが分かる。

次に、実貸出者数を年齢別の人口で割り、人口の多寡による影響を取り除いた数値でグラフ2を作成した。このグラフでは、人口千人あたりに換算した数値によって、異なる年齢層との違いや経年変化を、相対的に比較することが可能になる。



人口の影響を除いたグラフ2では、グラフ1で大きかった第二次BB世代の落ち込みは和らぎ、ライフステージ別の貸出利用の特徴が出ている。すなわち、小学生期に多く、中・高・大学生期になると少なくなる。子育て期は多くなり、50歳になると減るが、急激な落ち込みはない。退職期から高齢期にかけて利用が増えている。

9年の間の変化での注目点は16～63歳の利用が全体に下がっている点と、70歳以上の急な利用増だ。これらは、今後の利用動向を示していると思われる。

2. 既存の統計・アンケートを用いた分析

前述1.では新たに抽出した数値を用いたが、既に公開されている統計やアンケートを組み合わせ、利用の動向・傾向を見ることが可能だ。

(1) 年間貸出頻度から見る行動変化

電子版（過去5年は有料公開）の「公共図書館調査」には、実貸出者数に相当する数値（『公共図書館調査』調査項目67番目「うち有効登録者数」）がある。ただし、ここでの実貸出者数は年齢別の数値が無く、1年間に1回でも貸出を行った利用者の全体数である。

延べ貸出回数を実貸出者数で割ると、同じ利用者が繰り返し貸出利用するにつれ大きくなる数値が得られる、つまり、一人の利用者が平均何回貸出をするのか分かる。仮にこれを「年間貸出頻度」とする。

本市『図書館事業概要』に掲載の貸出者数は、貸出1回ごとに1人とカウントした数値であるので「延べ貸出回数」に等しい。

定義		
S	総貸出冊数	貸出された全冊数
A	平均貸出冊数（1回あたり）	1回の貸出あたりの平均冊数
N	延べ利用者数（延べ貸出回数）	貸出行為の延べ人数
J	実貸出者数（実人数）	1年間に1回でも貸出を行った利用者の人数
$(N/J)-1$ 年間貸出頻度（回/人）		
$S=A \times N$		
$A=S/N$		
S/J 一人あたり年間貸出冊数		

最新の2024年とその9年前の2015年のデータから、年間貸出頻度を出して比較してみた。

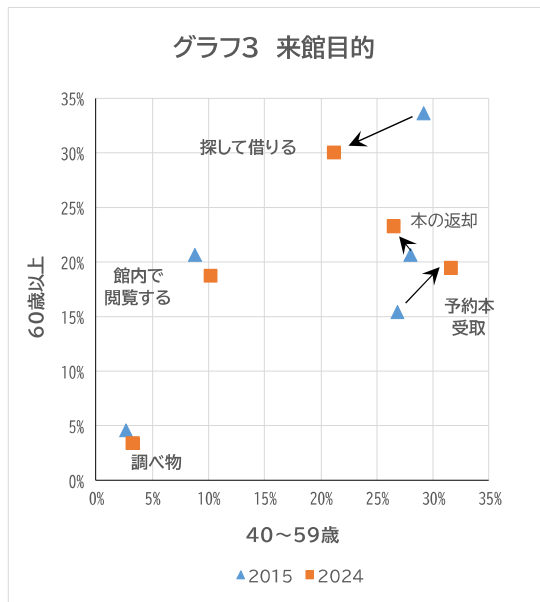
神戸市立図書館 年間貸出頻度の変化 2015, 2024				
年度	2015 ①	2024 ②	②÷①	傾向
(A)総貸出冊数(個人)	6,727,135	6,244,812	0.93	減
(B)延べ貸出者数(=貸出回数)	2,129,166	2,162,467	1.02	増
(C)実貸出者数	210,576	183,941	0.87	減
※実貸出者数Cは、『公共図書館調査』の調査項目67番「うち有効登録者数」より ※再発行時は図書館カード番号を変えて発行。再発行によるダブルは約9.5%。				
年度	2015	2024	%増減	傾向
1回あたりの貸出冊数 A/B	3.2	2.9	-0.3	減
年間貸出頻度 (B/C)-1	9.1	10.8	1.6	増
※参考(C):2024年の再発行利用者数17,519名 ※貸出のための図書館カード再発行を考慮した年間貸出頻度(2024年):11.9				

2015年に比べて、2024年の(A)総貸出冊数と(C)実貸出者数が減っているが、(B)延べ貸出者数(=貸出回数)は増えている。また、1回あたりの貸出冊数A/Bは減り、年間貸出頻度(B/C)-1は増えている。つまり、この9年間で、同じ利用者の繰り返し利用が増えていることが分かる。

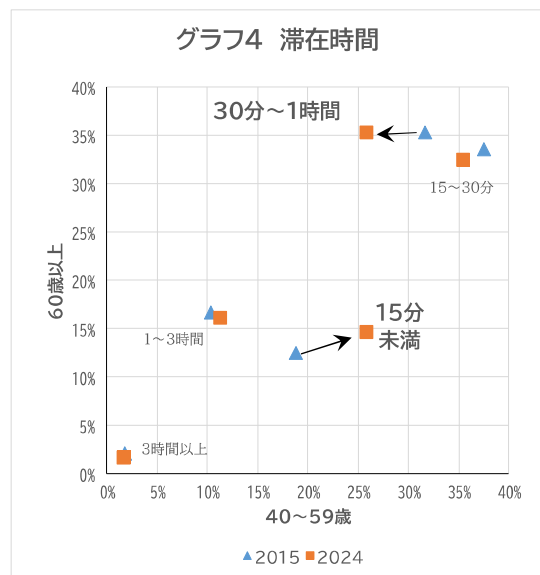
(2) アンケート調査からみる行動変化

次に、当館で毎年実施している「図書館ご利用の皆様へのアンケート」を見てみよう。

設問「来館目的」と「滞在時間」について、2つの世代を選び、横軸を40～59歳、縦軸を60歳以上として、2015年度と2024年度の結果を経年変化が分かるようにした（グラフ3、4）。



*回答の割合を座標軸に取り、2015年と2024年の数値をプロットした散布図。横軸は40～59歳を、縦軸は60歳以上を表す。
 *同じ回答項目の▲→■が2015年と2024年間の変化を示す。
 *例：40～59歳が、予約本受取を回答した割合は、2015年が全回答合計の約27%。そして60歳以上の場合約15%である。また、2024年は、それぞれ約32%、約20%である。
 *2015年と2024年の「図書館サービスについておたずねします」より作成



この10年程で、40歳以上は〈予約本の受け取り〉が増え、〈滞在時間〉が短くなっていることが分かる。少し面白いのが、グラフにはないが別途30歳台と40～59歳を比較したところ、30歳台は滞在時間には変わらないものの、来館目的の〈予約本受取〉

が減り、〈探して借りる〉が増加していたことだ。

(3) 見えてくる行動変化

(1)と(2)をまとめると、「新しい利用者が増えずに、既利用者が、主に予約本を小分けに借りているが、借りる本の冊数は減っている」ということになる。「準備できた予約本を、複数冊溜めずに連絡のあるごとに借りに来ている」「以前は予約本を借りに来たついでに、棚も見て借りていたが、最近はそれをしなくなった」などが考えられる。

なお、予約サービスについては、当時の長田分館（現在の長田図書館の前身）でサービスを開始した昭和46年から現在に至るまでに大小様々な変更があり、その成果や影響については、稿を改めて論じることとしたい。

3. まとめ

実貸出者数から算出される年間貸出頻度を、利用者アンケートを掛け合わせることで、これまで漠然と窓口業務で感じていた実態を「見える化」することができた。同時に、過去・現在・未来の神戸市立図書館で行われている「利用」についても垣間見ることができたように思う。

実貸出者数は、「図書館パフォーマンス指標」日本産業規格 X0812:2012 の2.2で定義してある基本統計数なのだが、公開している自治体は少ない。新しい利用者が来館し、貸出利用全体が増加しているうちは、実貸出者数は、大まかには延べ貸出者数と比例すると考えても実務的には差支えなかった。繰り返しの利用は新規の利用に隠れてしまっていると言ってよい。しかし、貸出利用の伸びが鈍化するなど、総数が減ってくると、繰り返し利用が顕在化してくる。今後は、利用の実態を知るには実貸出者数は有効な統計値となるだろう。

統計では分からないことももちろんあるが、統計によって見えてくるものもある。日常の小さなサービスを考えていく場合にも、基礎的資料として統計やアンケート結果を取り入れていくことは有用だと考える。

*

(参考)

実貸出者数の重要性は、亀田美紀「公立図書館の評価と実利用者数・実利用率の関係性：滋賀県を例に」（『論究日本文学」2020-12 Vol.113 p.1-23）でも述べられている。

<https://doi.org/10.34382/00016149>

震災関連資料室リニューアルと防災イベント

北澤拓実

阪神・淡路大震災から30年を迎えるにあたり、中央図書館2号館3階震災関連資料室の展示リニューアル及び、国立研究開発法人防災科学技術研究所と神戸市危機管理室との連携展示・イベントを行った。

1. 震災関連資料室リニューアル

2024年12月27日、地震への備えの一助となることを目指し、「継承と備え 阪神・淡路大震災30年」をテーマに展示内容をリニューアルした。壁面には防災科研と危機管理室提供の、当時の被災状況や地震のメカニズム等に関するパネルを展示。また、展示ケース内で紹介した資料や、震災を描いた絵本等を手に取って読める図書閲覧コーナーも設けた。

◇展示ケースの内容



入口から各ケースの展示内容が一目でわかるようケースごとにタイトルパネルを設置した。全8つのケースのうち、①震災を歩く②しあわせ運べるように③震災直後の情報発信⑦震災と図書館は、旧展示を活かして一部リニューアル。新たに設けたテーマは次の通りである。

④震災に強い街をつくる

復興にあたり、ただ元に戻すのではなく都市基盤が防災の視点から整備された。消火用水にもなる「せせらぎ」など様々な工夫を紹介した。震災を経験していない人が増えているため、普段見ている街並みに震災の経験が活かされていることを知ってもらう内容とした。

⑤震災を記録する

震災体験を綴った手記、震災後の街を定点撮影で追う写真集、二次元コードから当時の取材映像を見ることができる資料など、人々の体験や教訓を残さなければいけないという強い思いから、様々な形で記録された震災の資料を展示した。

⑥出版に見る震災30年

当館では、復興をめざした10年間の資料、東日本大震災以後さらなる検証が加えられた資料、止むこ

とのない災害にどう備えるかを提示する資料など、震災関連資料を集め続けている。30年間の出版物を「災害医療・看護と福祉」「ボランティア」等のテーマごとに見ることで、震災と向き合い続ける社会や人々の変化を辿った。

⑧今日からわたしが始める防災

新聞紙で作る靴など個人でできる防災の工夫を紹介している本を、図書館職員が実際にやってみた感想と共に展示した。また、神戸市における、デジタル技術を活用した新しい防災の取り組みを紹介している。あわせて、パスファインダー「今日からわたしが始める防災」も配布した。

2. 連携展示・イベント「これからの地震にそなえよう？」

◇連携展示

12月27日～1月30日に中央図書館1階ロビーで、防災科研の「大地震でも揺れない浮いてる！建物の研究」に関するパネルや、防災教育コレクション等を中心に展示を行った。また、図書館職員の「読んでほしい震災関連資料」を紹介文とともに展示、危機管理室の防災動画の放映も行った。

◇イベント

1月18日、1階ロビーにて防災科研プログラムの防災イベントを開催した。

・ぼうさいクイズ

1階ロビー、2階1.17文庫、3階震災関連資料室に計5つの防災クイズを掲示し、全問解答した人には防災科研オリジナルの軍手をプレゼントした。参加者は210名。



・VR地震体験

震度6以上の地震をVRで体験。参加者は67名。

・津波計測ワークショップ

防災科研主任研究員による、津波の高さを計算するワークショップを開催した。参加者は14名。



展示制作の過程で多様な資料に触れ、震災と向き合い続ける多くの人の姿に胸を打たれた。連携イベントは、震災関連資料室に初めて入ったという利用者から「興味深い展示だった」との感想もあり、当館の取り組みを知っていただくきっかけにもなった。今も収集を続けている震災関連資料が、未来の備えにつながるよう今後も努めていきたい。(利用サービス課)

〈新規採用職員エッセイ〉

新しい場所、新しい仕事

富原 なつみ

私は、地域館での勤務を経て、中央図書館に採用された。地域館との連絡業務を中心に行う部署に配属になることは想像していたが、システムの運用保守担当になるとは思ってもみなかった。

すべてのトラブルが初めての経験で、報告の電話を受けるたびしどろもどろになってしまい、「頼りないと思われているだろうなあ」と落ち込んでしまう。まずは、信頼される、とまではいかなくても、不安を倍増させることのない対応ができるように、ひとつひとつの仕事を着実にこなしていきたい。

(総務課)

多くの人に本を届けたい

中澤 朝子

子どもの頃、宮沢賢治の『雨ニモマケズ』を読んだ際、充実した感情が心に湧き上がってきました。それ以来、本が好きになり、大学生の頃は書店でアルバイトをし、前職では出版社に勤めていました。公共図書館の司書を志したのは、すべての本が扱えて、多くの方に本を届けることができる仕事だからです。配属先の資料ラインでは、主に目録に関する業務を担当しています。まずは目録法を学び直し、そして、できるだけ多くの目録に触れたい。早く洋書や和古書の目録も作成できるようになりたいです。目録を通して、利用者と本をつなぐこと、それが今の私の目標です。

(利用サービス課)

図書館がある喜びを

中山 祐美

図書委員の活動の楽しさが忘れられず、司書を目指しました。初めて通った公共図書館である神戸市立図書館で司書として働けることを、大変嬉しく思います。

配属された市民サービスラインでは、1階のカウンター業務などを担当しています。訪れる老若男女さまざまな方に適切なお案内をするのは大変ですが、その分やりがいを感じています。もっと実践経験を積み、知識をつけて、安心して頼ってもらえる司書になることが目標です。図書館がある喜びを地域の方々に感じてもらえるよう、日々尽力していきます。

(利用サービス課)

「やりがい」を胸に

村尾 葵

調査相談ラインに配属となり、早くも数ヶ月が経とうとしています。私は昨年度まで学校図書館で勤務していましたが、前職とは異なる業務の難しさと多さに圧倒される毎日です。一方で「やりがい」も多く、例えばレファレンス業務において、「打楽器の歴史について書かれた本はないか」という質問に焦りながらも本を提供し、「ありがとう」という笑顔をいただいた際には、嬉しい気持ちで一杯になりました。

まだまだ司書として未熟ですが、「やりがい」を大事にしながら、成長を続けていきたいと思っています。

(利用サービス課)

神戸の図書館であるということ

山崎 直哉

私が配属された資料ラインには、日々膨大な数の資料がやってくる。それらを皆さんが利用できるように整理するのが資料ラインの主な役目だが、大量の資料に立ち向かう中で、神戸に関する本の多様さにはよく驚かされる。地図や旅行ガイド、神戸が舞台の小説や絵本、さらにピンポイントなものでは神戸の餃子がテーマの本も存在する。こうした資料の数々と出会えるのは、この図書館が神戸市の情報拠点だからだ。こうした神戸市の情報を求める方や、それ以外の情報を求める方、多様なニーズを持った皆さんがすぐに望む資料にアクセスできるよう、日々業務に邁進していきたい。

(利用サービス課)

ー読書バリアフリー展示・関連イベントの実施ー

2025 年 3 月 1 日～3 月 20 日まで中央図書館において、「障害なく読書を楽しむために（読書バリアフリーの世界）」と題した展示とその関連イベントを実施した。誰もが読書に親しみ、必要な情報にアクセスできる社会へ向けて図書館の役割が増す中、本市点字図書館との連携事業として企画した。

展示では、図書館が行う障害者サービスや読書を補助する機器・資料等を紹介した。うち 2 日間は、点字図書館協力のもと、点字絵本やテキストデージー等の体験会も開催。約 20 名が参加し、熱心に耳を傾ける姿が見られた。他にも、映画『52 ヘルツのクジラたち』を日本語字幕・音声ガイド付きで上映するバリアフリー映画会を開催した。

(利用サービス課・峯松)

ー「こんなレファレンスありました」展。ー

レファレンスサービスの PR を目的としたパネル展示を中央図書館 1 号館 1 階エントランスにて 2025 年 3 月 23 日～4 月 24 日まで実施した。これまでに調査相談窓口に寄せられた質問とそれに対する回答のうち、レファレンス協同データベースに登録しているものを中心に 36 の事例を紹介した。

(総務課係長・川村)

ー神戸「本」の文化振興プロジェクトー

「世界をひろげる、ほんとの出会い」をテーマとしたこのプロジェクトを広く PR するため、ロゴマークを使ったグッズを制作した。来館者にはしおりを配布し、ホームページには自由に印刷できるブックカバーのデザインを公開した。また、図書館職員は全員ロゴマーク入りの缶バッジを着用することとした。

さらにプロジェクトのイベントとして、市内外からたくさんの方々の特色ある書店、本屋、古書店、出版社などに集まっていた「KOBE BOOK FAIR & MARKET」を 2025 年 3 月 22 日に開催した。六甲アイランドの神戸ファッションマートを会場に約 4,500 人もの来場があった。本だけでなく雑貨や飲食の販売のほか、RIC コミュニティライブラリーによる読み聞かせやワークショップもあり、幅広い年齢層の来場者で大賑わいのイベントとなった。(総務課係長・宮本)

ー「神戸外国人居留地計画図」保存修理を開始ー

2025 年 4 月より、当館所蔵の市指定有形文化財「神戸外国人居留地計画図」2 幅のうち明治 5 年版(1872)を、(一社)国宝修理装填師連盟の加盟業者に委託し、掛軸装を全て解体する初の本格修理を開始した。修理には 1 年間に要する。令和 8 年度には、明治 3 年版(1870)を修理すべく現在準備を進めている。

(利用サービス課・有賀)

ー蔵書点検（日程）ー

中央	11 月 12 日～11 月 25 日	北神	5 月 28 日～6 月 2 日
東灘	4 月 2 日～4 月 7 日	新長田	6 月 11 日～6 月 16 日
灘	4 月 9 日～4 月 14 日	須磨	6 月 25 日～6 月 30 日
三宮	6 月 18 日～6 月 23 日	名谷	5 月 22 日～5 月 27 日
兵庫	4 月 16 日～4 月 22 日	西	6 月 4 日～6 月 9 日
北	5 月 14 日～5 月 19 日	垂水	実施せず

ー地域館トピックスー

【ぼくぼくと金澤麻由子の絵本の世界展】

2025 年 5 月 13 日～5 月 31 日まで、須磨図書館において、須磨区在住の絵本作家・金澤麻由子氏による原画展を開催した。展示した原画は、『ぼくぼく』『さすらいのルーロット』『てんからのおくりもの』の 3 作品から選ばれた 12 点で、子どもから大人まで来館者の目を楽しませた。また、同館が所蔵する金澤氏の絵本 8 冊も併せて展示し、貸出や閲覧に供した。今回の原画展は、金澤氏とのコラボレーション企画の第 1 弾として実施したもので、今後第 2 弾の開催も予定している。

【みんなで祝おう！おたんじょうび会】

西図書館では、2024 年 10 月より、開催月に 1 歳から 5 歳の誕生日を迎える乳幼児とその保護者を対象とした「おたんじょうび会」を定期的に開催している。この催しでは、同館が独自に制作したフォトフレームを用いた記念撮影スポットを設置するほか、絵本の読み聞かせや手遊び、絵本の展示などを通じて、親子のふれあいや参加者同士の交流を促している。

(総務課・石黒)



ー手帳ー

会議	毎月 1 回	中央図書館職員安全衛生委員会
	2. 5	第 9 期第 1 回神戸市立図書館協議会
	6. 26	令和 7 年度兵庫県図書館協会理事会
	7. 23	令和 7 年度近畿公共図書館協議会 第 1 回理事会・総会
研修	2. 20	館内研修「図書館貴重資料にみる“神戸” 「令和 7 年度の神戸市立図書館に向けて」
	6. 19	館内研修「中央図書館の利用の状況を検証する」
工事	R6. 6. 18～R7. 7. 3	中央図書館電動集密書架改修
	R6. 11. 7～R7. 3. 3	須磨図書館返却ポスト改修

令和7年度 こどもの読書週間行事

館名	行 事 名	日 程	参加人数	
			子ども	大人
中央	児童書の展示 「調べものにはパスファインダー！」	4/23～5/11	—	—
	児童書のミニ展示 「手でみる絵本、指でよむ絵本」	4/23～5/11	—	—
	工作会「マイ図書館バッグをつくろう」	5/10	17	10
	図書館クイズラリー	4/23～5/11	83	—
	展示「本でまなぶ考古学」(連携:埋蔵文化財センター展示「こべっこ考古学Q&A」)	4/25～5/25	—	—
	おひざのうえのおはなし会	4/19	6	5
	おはなし会	4/26	11	6
	かみしばいの会	5/3	6	5
	たんぽぽおはなし会	5/10	14	11
東 灘	児童書の展示「知りたい！世界の国ぐに」	4/22～5/18	—	—
	参加型展示「ぼく・わたしの できた！じまん」	4/22～5/18	—	—
	館内イベント「としょかんてハント！」	4/22～5/18	302	—
	こどもと大人が楽しむおはなし会	4/27・5/11	13	2
	工作教室「おりがみでコマづくり」	5/3	8	3
	一日図書館員	5/10	3	—
	みんなのおはなし会	4/26	11	7
	おはなし会「えほんの時間」	4/27 5/4・5/11・5/18	39	20
	おはなし会「お話と絵本の時間」	4/27 5/4・5/11・5/18	40	0
灘	おひざのうえのおはなし会	5/14	7	8
	児童書の展示「冒険に出かけよう！」	4/15～5/18	—	—
	レッツゴー！図書館探検隊	4/15～5/18	412	—
	工作教室「さかなつりをしよう！」	4/29	9	8
	子供特別映画会	5/17・5/18	3	6
	一日図書館員にチャレンジ！	5/5・5/6	—	6
	おはなし会	4/20・5/18	15	14
	おひざのうえのおはなし会	4/24	4	4
	子供むけ映画会	4/26	2	2
三 宮	おはなし会	5/4	3	3
	児童書の展示「さあぼうけんに出かけよう！」	4/22～5/11	—	—
	ピンゴ わたしはだれでしょう？	4/22～5/11	108	—
	図書館本屋さん	4/27	5	—
	一日図書館員になろう！	5/4	4	—
	オリジナル絵本をつくろう！	5/11	7	9
	おはなし会	4/26	8	5
	おはなし会	5/3	7	8
	おひざのうえのおはなし会	5/10	9	7
兵 庫	児童書の展示「雲の世界」	4/23～5/18	—	—
	雲のモビールをつくろう	5/18	5	1
	おひざのうえのおはなし会	4/25	7	6
	おはなし会	4/26	5	6
	おはなし会	5/10	2	2
北	おはなし会	5/17	2	3
	読んでみてみて！ハッピーバッグ	4/19～5/11	—	—
	イベントに参加してスタンプをあつめよう！	4/19～5/11	59	—
	一日図書館員	4/26	4	—
	人形劇	5/5	21	25
	紙コップでつくろう！ピヨーンとジャンプ	5/10	5	2
	小さな絵本のじかん	4/19	6	2
	おはなし会	4/26	5	1
	おひざのうえのおはなし会	5/3	4	3
	おはなしとえほんの会	5/10	5	2

館名	行 事 名	日 程	参加人数	
			子ども	大人
北 神	児童書の展示(絵本) 「だいすきなどうぶつたち」	4/23～5/27	—	—
	児童書の展示(主題・読み物) 「植物のふしぎ」	4/23～5/27	—	—
	としょかんてナゾトキ 「ほんくすからの挑戦状！」	4/23～5/11	74	—
	工作ライブ！ラリー「とことこ ペンギン」	4/27	30	32
	一日図書館員	4/29	4	—
	北神図書館春まつり	5/3	368	284
	おひざのうえのおはなし会	4/16	6	6
	ストーリーテリング	4/19	4	3
	ほくほくおはなし会	4/26	8	5
新 長 田	おはなし会	5/10	10	7
	児童書の展示「春のあんな音♪こんな音♪きこえてきたのは、な～んだ？」	4/22～5/18	—	—
	一日図書館員 「やってみよう！図書館のお仕事」	4/27	7	—
	春のおはなし会	5/10	5	8
	読み聞かせと工作会 「へい おまち！ナガタずし かいてん！」	5/18	4	3
	えほんの会	4/26	9	4
	おはなし会	5/3	6	4
	えほんの会	5/10	4	2
	おはなし会	5/17	9	4
須 磨	資料展示「世界の動物にあい！こいこう」	4/1～5/11	—	—
	資料展示「旅する動物」	4/1～5/11	—	—
	参加型展示「世界の中のどうぶつたち」	4/1～5/11	—	—
	親子工作教室「手作りバッグで世界一周」	5/3	4	4
	一日図書館員	5/5	4	—
	ちいさなおはなし会	4/19	3	2
	えほんおはなし会	4/26	8	7
	おひざのうえのおはなし会	5/2	0	2
	おはなし会	5/10	4	3
名 谷	資料展示「この本よんでみて！」	4/23～5/12	—	—
	参加型展示「どうぶつたちとせいくらべ」	4/23～5/12	—	—
	「どれくらい知っている？図書館クイズラリー」	4/23～5/31	—	—
	「一日図書館員体験ツアー」	5/5	4	—
	ストーリーテリング「ストーリーテリングの世界ことばで楽しむおはなし会」	5/6	9	26
	おひざのうえのおはなし会	5/1	3	3
	よつば おはなし会	5/10	11	6
垂 水	資料展示「ひらけ☆ボン！」	4/22～5/11	—	—
	たるみ図書館だより 「まほうつかい・たるんからの挑戦」	4/22～5/11	—	—
	工作教室「もう一度！お名前プレゼント♪」	4/26	6	9
	てのひら図書館 ～スマホを使った図書館講座～	4/29	0	3
	一日図書館員	5/3	4	0
	よるのさんぽ～ぬいぐるみのおとまり会～	5/3	5	0
	おはなし会	4/24	6	6
	おひざのうえのおはなし会	5/1	2	2
	おはなし会	5/3	7	3
	おはなし会	5/14	1	2
西	参加型資料展示 「にしとしょ万博にいらっしやい♪」	4/22～5/11	—	—
	「チャレンジ☆ライブラリアン」	4/29・5/11	7	—
	親子手づくり会「ランチBOXをつくろう！」	5/3	7	8
	おはなし会	4/27	10	4
	おはなし会	5/4	7	5
	おはなし会	5/11	11	10

参加総数 2,626人(子供 1,957人 大人669人)